

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況 2010年5月23日現在

**概況** ワシントン州東部の5月23日に終る1週間の気象は、Very Cool & Wetの気象であった。EC地区の最高気温は77~82度Fまで上昇したが、最低気温は30~36度Fと3月の気であり、平均気温は平年を3~7度F下回った。SE地区に於いても最高気温は78(Walla Walla)~85度F(Whitman Mission)となったが、平均気温は平年を2~7度F下回った。1週間の降水量はEC地区にて0.48~0.99インチ、SE地区にて0.35~1.28インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.9日(前週:6.6日)であった。Topsoilの土壌水分は、“Surplus”が23%となり、“Short”と“Adequate”が減少したが、“Adequate”と“Surplus”の合計は89%であり、5年平均(74%)より良い状態であった。Subsoilの土壌水分は前週より“Adequate”と“Surplus”が増えたが、平年より“Short”が多い。低温・湿潤気象は冬小麦の生育を遅らせた。Whitman、Walla Walla、Lincoln郡では雨の合間に耐病害(rust)の農薬散布を実施した。Walla Walla地区では、1インチ以上の降雨があったが、今期の積算降水量が平年より未だ4インチ以上少なく、冬小麦には早魃のストレスが現れていた。Lincoln郡でも降雨は部分的であり、更なる降雨が望まれた。冬小麦の20%が出穂した。出穂は昨年より早い進展であった。Lincoln郡Spokane郡では出穂したばかりの冬小麦が霜に遭い、被害が心配されている。春小麦は99%にて播種が終了し、96%が出芽した。出芽は昨年より早い進展であった。冬小麦の作柄は前週より落ちたが、春小麦の評価は多少上がった。

### 土壌水分及び灌漑用状況(\*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	3	8	66	23
	Last week	3	16	71	10
	5-Yr Ave.	4	16	74	6
Subsoil	This week	7	34	56	3
	Last week	8	36	55	1
	5-Yr Ave.	7	28	64	1
Irrigation	This week	0	5	93	2
	Last week	0	9	90	1
	5-Yr Ave.	1	3	92	4

### 冬小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	20	5	14	25

### 冬小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	6	9	18	55	12
Last week	1	4	18	60	17

### 春小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	99	96	99	100
Emerged	96	88	86	90

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)までお願い致します。

春小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	1	28	66	5
Last week	0	0	30	64	6

(\*) Source: National Agricultural Statistic Service, Washington-Field Office, USDA. 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

以上